



写真上は中国電力本社玄関前の黒松。下は黒松が植えられる前の花壇。四季折々の花が植えられました。

格調高し 中国電力本社玄関前の黒松

三 成 利 男

昨年(昭和六十三年)九月、中国電力本社(広島市中区)を訪問した際、佐久間敬常務取締役が、わざわざ玄関前を案内して下さった。そのときの玄関前のロータリーの花壇には、サツキなどが植えられていた。佐久間常務は花壇を指差して「これを黒松植栽に変える」といわれた。私はその言葉に、大賛成した。

果たせるかな新しい花壇には、黒松が植えられていた。松の植栽によって玄関前は莊重権威ある景観になっている。あたかも宮城前に松林があるが如くに。

とかく松離れの風潮にあつて、佐久間常務の勇断を敬祝する次第である。

今般、広島県は全国第二位の松くい虫被害県に逆戻りした。県下の関係者各位は、この勇断を範とせられたい。

松を守る意義ある日

「松の日」(5月8日)制定

毎年五月八日は「松の日」(社)日
本の松の緑を守る会は創立十周年を
機会に去る八月八日、「松の日」を制
定、発表しました。毎年、五月八日
を「松の緑を考え、守り、植樹し、
感謝する」意義ある日にするために

制定したもので、この日を基準にし
て週間、旬間または月間の行事を当
会主催、共催もしくは協力などに
行います。

五月八日を「松の日」に制定した
のは、次の事由によります。

(1) 昭和五十六年五月八日、奈良県文化会館で第一回「日本の松の緑を守る」全国大会を開催したとき、高松宮殿下のおことばを賜り、五百名近くの参会者を得て、松に対する関心と熱意がひしひしと感じられ、これが当会発展の大きな基盤となった銘記すべき日である。

(2) 松枯れの伝染源(マツノザイセンチュウ)を運ぶマツノマダラカミキリの出現を控え、対策準備期間中

の最も重要な時期である。

(3) 四月二十九日の「みどりの日」に続いて、松の緑が風雪を凌いで、最も輝く快適な季節である。

行事としては講演・講習会、展示会、植樹、森林浴、見学会、撮影会、広報誌、印刷物の発行・配布、キャラバン隊車による広報・指導・防除活動などが予定されています。

なお制定に当たっては昭和六十三年五月、経団連会館で開かれた理事

会、総会に諮られ、ことし六月二日に大阪グランドホテルでの「松の日」制定委員会(委員十四名)で審議、六月十五日、経団連会館で開催の理事会、総会での議を経て決定しました。

紺谷常務理事が参加

大阪府農林水産フェスティバル、大阪市農作物品評会・即売会(主催)大阪府、大阪市、大阪市農業団体協議会)が十一月十一、十二両日、大阪府宮住之江公園で開かれ、当会から紺谷常務理事が参加しました。

中原理事が講演

当会・中原理事は次の研修会で講演しました。

滋賀県松くい虫自主防除研修会

滋賀県、近江の松を守る会の共催で十一月十六日、浅井町西公民館で開かれ、五十名の出席者がありました。

京都府松くい虫防除研修会

京都府の主催で十一月二十一日、丹後町間人、はしうど荘で開かれ、管内の市町村職員、森林組合、企業など松くい虫防除に関係のある団体などの人たちが出席。松くい虫の生態とその防除について講演。樹幹注入剤などの現地指導を行いました。

埼玉県松くい虫防除講演会

埼玉

県の主催で十一月二十八日、県民健康センター(浦和市)で開かれ、県市町村、森林組合の松くい虫防除事業担当者が出席。「松の緑を守る」のテーマで講演しました。

陸前高田市「みんなで松の緑を守る推進大会」

十一月三十日、陸前高田市市民会館で開かれ「松の緑を守る」のテーマで講演し、四百名の出席者がありました。

「日本の滝一〇〇選」に協力

緑の文明学会、グリーンネットサンス、緑の地球防衛基金共催の「日本の滝一〇〇選」選定に当会も協賛しています。

日本の自然(観)の象徴ともいうべき日本の名滝百か所を選定することによって各地域の自然保護への理解をより深め、より多くの人が自然に親しめる場を創造しようというもので、発表は来年四月中旬の予定。

事務局通信

新役員ご就任 このたび次の方が新役員に就任されました。

(敬称略・五十音順)

〔特別顧問〕

川合辰雄

(社)九州・山口経済連合会会長

佐藤忠義 四国経済連合会会長
〔顧問〕
大倉真隆 (社)全国地方銀行協会会長
小松左京 (財)国際花と緑の博覧会協会
総合プロデューサー

〔相談役〕
瀧 潤次郎 中部ゴルフ連盟会長
中野重美 中国ゴルフ連盟理事長
三島昭男 文明評論家
〔相談役理事〕
加藤一男 (財)日本造園修景協会 副会長

〔常務理事〕
田尻敏雄 弥生興産(株)取締役
紺谷修治 農林水産省林業試験場
北村太三郎 積水高分子化工(株) 常務取締役

〔監事〕
大野 茂 (財)飛鳥保存財団元部長
〔評議員〕
松本 馨 四国積水工業(株)元参事
第十一回常任理事会 六月二日、大阪グランドホテル五階会議室で開催。①昭和六十三年度事業報告及び

決算報告並びに平成元年度事業計画、収支予算の件②「松の日」制定の件③報告事項(役員改選の件、創立十周年記念行事の件、その他)④議事録署名人二名選任の件を審議、可決しました。

〔常務理事〕
田尻敏雄 弥生興産(株)取締役
紺谷修治 農林水産省林業試験場
北村太三郎 積水高分子化工(株) 常務取締役

〔監事〕
大野 茂 (財)飛鳥保存財団元部長
〔評議員〕
松本 馨 四国積水工業(株)元参事
第十一回常任理事会 六月二日、大阪グランドホテル五階会議室で開催。①昭和六十三年度事業報告及び

決算報告並びに平成元年度事業計画、収支予算の件②「松の日」制定の件③報告事項(役員改選の件、創立十周年記念行事の件、その他)④議事録署名人二名選任の件を審議、可決しました。

〔常務理事〕
田尻敏雄 弥生興産(株)取締役
紺谷修治 農林水産省林業試験場
北村太三郎 積水高分子化工(株) 常務取締役

〔監事〕
大野 茂 (財)飛鳥保存財団元部長
〔評議員〕
松本 馨 四国積水工業(株)元参事
第十一回常任理事会 六月二日、大阪グランドホテル五階会議室で開催。①昭和六十三年度事業報告及び

決算報告並びに平成元年度事業計画、収支予算の件②「松の日」制定の件③報告事項(役員改選の件、創立十周年記念行事の件、その他)④議事録署名人二名選任の件を審議、可決しました。

第十二回常任理事会 九月二十二日、大阪・関電会館二階会議室で開催。①第三回全国大会開催準備状況報告の件②表彰規程制定の件③第三回全国大会における「松緑防衛功勞者選考委員」委嘱と選考の件④その他⑤議事録署名人二名選任の件を審議、可決しました。

日本の松の緑を守る

No. 38

一九八九年 十二月二十日 発行

発行人 三 成利 男

発行者 (社)日本の松の緑を守る会

東京本部

〒一〇〇 東京都千代田区永田町二一七一五

ローレル永田町四〇七号室
電話(〇三)五九三一一六六五番

大阪支部

〒五三〇 大阪市北区中之島三一六一三二

ダイヤビル 六一一号室
電話(〇六)四四四一一二九五番

購読料(一部)五百五十円(年決め二千円)

購読希望者は購読料を同封のうえ、右記発行所へお申し込み下さい。